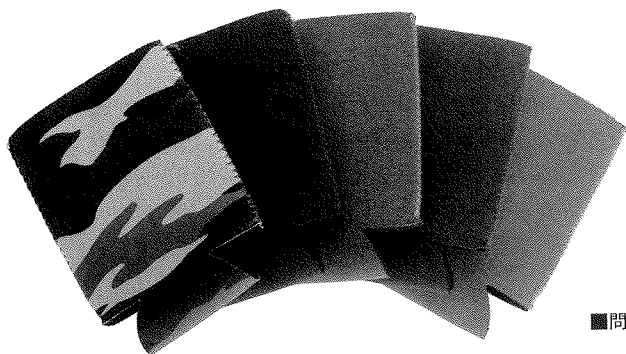


クージーに名入れする…内製するか専門業者に依頼しよう

■クージーにデザインをプリント (帆風の場合)



オリジナルクージーの仕様

- ◎クージーサイズ…W約95mm×H約130mm
(底面部分を含む、つぶした状態の大きさ)
- ◎素材…ネオプレン製
- ◎ボディカラー…ブラック、ホワイト、ブラウン、カーキ、レッド、ピンク、オレンジ、イエロー、グリーン、ライトグリーン、ライトブルー、ブルー、ネイビー、パープル、迷彩
- ◎インクカラー…ホワイト、ブラック、イエロー、ゴールドイエロー、ピンク、ホットピンク、オレンジ、レッド、ライトブルー、ブルー、フレッシュグリーン
- ◎プリント範囲…W70mm×H80mm ◎注文数…1個から
- ◎価格…10個の場合、7,500円(@750円)

■問い合わせ (株)帆風 Vanfu 飯田橋店(24時間営業) ☎03-5229-8229 www.vanfu.co.jp

帆風の「オリジナルクージー」。保温・保冷効果の高いネオプレン素材を採用している。アウトドアやスポーツ、各種イベントのシーンにピッタリだろう。シルク印刷(1色)でプリントをおこない、インクカラーは11色から選べる。



トで販売するという使い方だ。またクージーは、ジョギングやマラソンなどスポーツ系のグッズとも相性が良い。保温・保冷効果があるので、シーズンを問わずお客に提案できるだろう。

名入れの製法としてはシルク印刷や昇華転写、インクジェットなどがある。製法によつては写真プリントやグラデーション表現が可能なので、多様なデザインを作り出せる。製造システムを所持しているOGBSはクージーの無地商材を仕入れて内製にチャレンジしては。

「どのぐらいの需要が見込めるかからない」「在庫負担が心配」というショップは、まずは外注業者を活用するといだろう。需要時期や注文ロット数、プリントの仕上がりなど、ひとつとおりクージーの名入れを学んだ上で、内製に切り替えるか、外注を継続するかの判断をしたい。

10個作製の場合、1個あたり750円

クージーの外注業者として本誌が勧めるのが(株)帆風(東京都)。商業印刷物をメインに企画からデザインまでおこなう印刷会社で、ネット通販の他、全国8ヶ所で店舗サービスを展開している。名刺やハガキ、チラシといった紙印刷を主軸に、ウエア、マグカップ、キーホルダー、ワイングラス、エプロンなど多種多様なオーダーグッズを取り扱う。

帆風の「オリジナルクージー」は1個から作製できるのが特長。素材はネオプレン

ン製で、防水性が高く、保温・保冷効果に優れている。

クージーの購買層について同社は、「個人の方がイベント開催時にノベルティグッズとして配布したり、社会人の運動部チームがお揃いでグッズを作ることもあり。注文数はノベルティの用途だと50個〜100個程度、チームグッズでは10個前後が平均です」。

シーズンを問わず売れているが、特に夏の時期は動きが活発化するという。

「パーベキューなどアウトドアのシーンで活躍します。また保冷効果が高いので、運転に関わる職種の方にもおすすめ(帆風)。カラーバリエーションが豊富で、クージーのボディカラーはブラック、ホワイト、ピンク、迷彩など15色。インクカラーはイエロー、オレンジ、ブルー、ブラックなど11色から選べる(製法はシルク印刷1色)。

迷彩にプリントする場合、薄いインクだと生地模様の影響が出ることがある。価格は「版代+個数+単価」によつて変わる。例えば10個作製の場合、版代3000円+10個×450円=7500円(@750円)。100個だと版代3000円+100個×330円=36000円(@360円)。納期は版下データが届いてから5日後の出荷となる。

個人からチーム、イベントのノベルティまで様々な用途で使われているクージー。取り扱っているOGBSはまだ少ないので、狙い目のオーダーグッズ商材と言えるだろう。